

「安心と信頼の医療と介護」2015 中央集会を開催

2015 年 5 月 27 日 掲載

5 月 23 日（土）、医療と介護の連携強化に向けた課題共有と相互理解をはかることを目的に、「安心と信頼の医療と介護」2015 中央集会をホテルイースト 2 1 東京で開催した。集会には、全国の医療・介護現場で働く仲間や、構成組織・地方連合会で組織化に取り組む仲間を中心とする 630 名が参加した。

主催者あいさつで連合・高橋副事務局長は、医療と介護において団塊の世代が全て 75 歳以上になる 2025 年に向けた「地域包括ケアシステム」の構築が喫緊の課題であることを述べた。医療では必要十分な医療提供体制の整備や看護職員の労働環境の改善の必要性、介護では大幅な報酬マイナス改定によるサービスの劣化、人材不足への懸念などに触れ、患者・利用者が安心してサービスを受けることのできる制度をめざした取り組みを強めていく決意を述べた。

続いて、「仕事と介護との両立」という視点からの講演の後、地域包括ケアシステムを担う現場の取り組み報告があった。

午後は医療と介護とで各分科会に分かれ、医療では地域医療構想や、夜勤の負担軽減、休暇の取得など、介護では処遇改善加算などのテーマについての講演があり、さらに具体的な取り組み報告の後、会場との意見交換を行った。

最後に「集会アピール」を採択し集会を締めくくった。

集会終了後は、参加者とともに JR 秋葉原駅前街頭アピール行動を行い、医療・介護現場の実態や処遇改善の必要性を広く訴えた。

集会アピール

本日、私たちは、連合「安心と信頼の医療と介護2015中央集会」を開催し、医療と介護をめぐる実態や、「地域包括ケアシステム」の構築に向けた課題について、全国から集まった仲間とともに、活発な意見交換を行いました。

今年、医療提供体制と介護保険制度の大きな制度改革が、実行に移されました。誰もが安心して地域で暮らし続けるためには、医療と介護サービスが、切れ目なく提供される体制の確保が必要です。

目標とされる2025年まで、残された時間は決して長くありません。本集会で、全体会では、「大介護時代」を乗り越えるために、私たち自身も、それぞれの地域にとって相応しい「地域包括ケアシステム」とは何なのか、話し合っていくことが必要であることを確認しました。そして、医療と介護サービスの提供においては、患者や利用者一人ひとりの暮らしを思い抱きながら、医療と介護の相互理解をいっそう深めていく必要性を認識しました。

また分科会では、制度改革の動きを把握するとともに、医療と介護それぞれの職場で抱える悩みや課題を共有し、どのような取り組みができるのか、意見交換を行いました。言うまでもなく、提供体制を支えているのは労働者です。患者や利用者が安心してサービスを受けられるようにするためにも、勤務環境や処遇の改善を勝ち取り、医療と介護で働くすべての人が、安心してサービスを提供できる職場づくりを進めることが不可欠です。

そのためには、労働組合として職場での取り組みを強めるとともに、私たち労働組合の仲間を一人でも多く増やし、職場や地域の声を結集し、医療・介護の実態を広く国民に訴え、処遇改善や政策実現の力にしていけることが必要です。そして、連合がめざす「働くことを軸とする安心社会」、「1000万連合」の実現をめざし、本集会をきっかけに、一人ひとりが行動していきましょう。

2015年5月23日

連合「安心と信頼の医療と介護 2015中央集会」

【主な内容】

■全体会（午前）

<講演>「大介護時代を乗り切る ～仕事と介護両立の視点から～」

樋口 恵子（NPO 法人高齢社会をよくする女性の会 理事長）

<報告>「医療、介護現場から考える地域包括システム」

居橋 真人（自治労）

片山 憲（ヘルスケア労協）

太田 勝（UA ゼンセン）

■医療分科会

<講演>「地域医療構想がめざすもの」

高山 義浩（沖縄県立中部病院）

<報告>

山田 信輔（UA ゼンセン）

白井 桂子（自治労）

小松崎雄一（基幹労連）

森島 英和（JR 連合）

指宿 悦子（ヘルスケア労協）

■介護分科会

<講演>介護報酬改定と介護保険制度について

高橋 俊之（厚生労働省老健局 総務課長）

<報告>

日下 亮（UA ゼンセン）

梅田 達也（自治労）

橋本 敦士（自治労）

須田 直樹（ヘルスケア労協）

鍋田 博（連合佐賀）

■全体会（午後）

<分科会報告>

医療分科会座長：伊藤 邦彦（自治労）

介護分科会座長：斗内 利夫（UA ゼンセン）

<集会アピール採択>

中西 徹（連合三重）



連合 高橋副事務局長による主催者あいさつ



会場いっぱい630名もの参加者



JR 秋葉原駅前での街宣行動